

1940年代の終わり、音楽シーンで脚光を浴びていた、ラップスティールの延長線上に誕生したフェンダーのファーストプロダクションは、ドレッドノートギターボディに似たピックアップマウントのソリッドボディギターであった。ただそれだけのものではなかった、おそらくフェンダーは今、存在していなかったかもしれない。

しかしそのギターこそは、フェンダーが今日、確固たる地位を築き得た数々のエポックメイキングなアイデアを有し、ギター史を変革するほどにショッキングなものであった。例えばデタッチャブル・1ピースメイプルネックである。

ネックをギターのパーツとしてとらえ、4本のスクリューでボディに取り付けるという、かつて誰一人として考えたことのないこのシステムは、製造ラインの合理化という作り手のメリット以上にプレイヤーにとって、万一のトラブルにもネックだけ交換できるという画期的なものであった。このネックはメイプルの1ピースであり、ギターにとって不可欠なフレットボードがなく、フレットはネック表側に直接打たれ全体にクリアラッカーが施されていた。これもまた他に例のない見逃せない点である。

さらにもう一つ、従来ネックに対し角度をつけていたヘッドを見直し、フ

# Telecaster

レット面と平行に一降下げたヘッドセッティングを生み出し、同時に糸巻を片側一列に配することで、テンションは確保しながらもナット部で弦の不要な曲がりをなくし、しかもギターにとってウィークポイントであったこの部分の強度を飛躍的に向上させることに成功したのであった。

1948年に始まり、'51年に正式に名付けられ、翌年広くシーンに送り出された、偉大なるギターブランド・フェンダーのデビューを飾ったギター“テレキャスター”である。以来1/2世紀にも及ぶ年々を経て、なお不動の人気を保ち続けるエレクトリックギターの原点。

'52ヴィンテージ・テレキャスターはまさにこの完璧なリイッシュである。



'52 Vintage Telecaster Machine Heads

## Frets

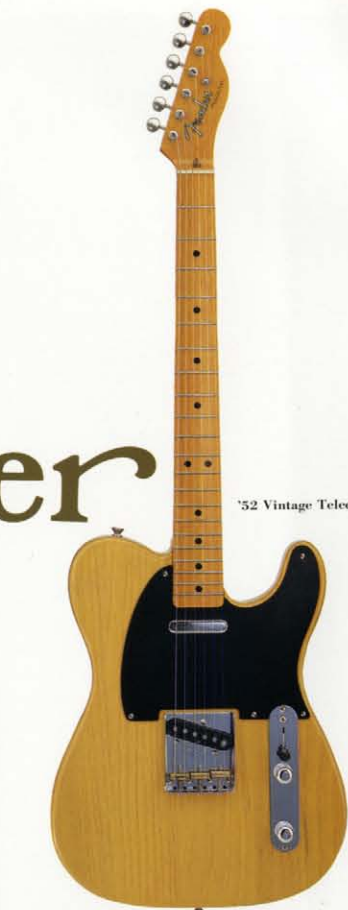
フレットはメイプルネックに直接打ち込まれ、ラッカーフィニッシュされる。ラッカーがフレットのすき間に入り、グリッサンドがし易くなるという思わぬ効果も生まれた。

## Bridge Plate

フラットボールピースのリアピックアップとプラスブリッジをセットしたブリッジプレート。シリアルナンバーは当時のまま、ここに刻印されている。

## Pickup Selector

ピックアップセレクターは3ウェイ。リア側にした時リアピックアップを、センターにした時フロントピックアップをセレクトし、フロント側になるとキャパシターを経由し、高域がカットされたいわゆるBass-Toneがフロントピックアップから出力される。



'52 Vintage Telecaster



'52 Vintage Telecaster Bridge



Pickup Selector

## '52 Vintage Telecaster (Re-issue of 1952 production)

Pickups	1 Vintage single coil neck 1 Vintage single coil bridge
Controls	1 Volume, 1 Tone
Pickup Selector	3 position (bridge/neck/neck (bass tone)) (Convertible to bridge/both/neck)
Scale Length	25.5" (647.7mm)
Fretboard	Maple
Frets	21 Vintage style
Radius	7.25" (184.2mm)
Body Material	Ash
Color	850

